

こころを動かすスポーツ。



ゼビオホールディングス株式会社 XEBIO Holdings Co., Ltd.

郡山本社

〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-35

URL <http://www.xebio.co.jp/>

3-7-35 Asahi, Koriyama, Fukushima 963-8024, Japan

URL <http://english.xebio.co.jp/>

東京オフィス

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14F

Nishikicho Trad Square 14F, 3-20 Kanda-nishikicho,

Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan

CORPORATE PROFILE

2018年3月期
For the year ended March 31, 2018

免責事項・見直しに関する注意事項

このレポートは、2018年3月期の実績及び2018年4月からこのレポート発行日までの活動内容に基づき、ゼビオホールディングス株式会社及びその子会社、関連会社に関する情報を掲載しています。本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。従って、実際の業績は経営環境等の変化に伴い、見直しと異なる可能性があることをご留意ください。また、この内容は投資判断の参考になる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。



こころを動かすスポーツ。

スポーツに感動できるひとが
たくさん住んでいる国は明るい国です。

スポーツの観戦で思うことがあります。

競技場を揺るがすほどの人間の渦の中で、これほどのひとが一体となり

歓び、驚き、悲しみ、悔しがり、涙するような気持ちを共有することが、

ほかにどれほどあるのだろうか。

生まれも育ちもちがう こんなに多くのひとと 気持ちをひとつにできるのはなぜか。

その芽は、初めてスポーツをした頃から 生まれているのではないか。

できなかったことが初めてできた、自己ベストの瞬間。

勝利を掴んだ一瞬。

届かなかった一瞬。

ひとつひとつの大切な時間を積み重ねて、

こころが感動することを覚えていく、おおきく豊かに育っていく。

スポーツに感動できるひとがたくさん住む国の未来は明るい、わたしたちは信じています。

こころを動かす体験をひとつでもたくさん、あなたに。

ゼビオグループ、すべての人間の仕事です。

こころを動かすスポーツ。

XEBIO GROUP ゼビオグループ

THE SUPER XEBIO
SPORTS

XEBIO SPORTS
EXPRESS

NEXAS
ネクサス by Takeda Sports

Takeda Sports

Victoria

L-Breath
feel the earth, open-air sports

Victoria Golf

GOLF Partner

地域に根ざす

スポーツとの接点を増やす

ビジネスモデルの差別化

新しいスポーツビジネスのありかた

CONTENTS

1 グループステートメント

3 事業ビジョン

9 ステークホルダー・コミュニケーション

15 コーポレート・ガバナンス

17 ゼビオヒストリー

18 店舗数

19 連結財務諸表・株式情報

21 財務ハイライト

23 企業理念／経営体制

24 グループ主要会社概要

25 全てのステークホルダーの皆様へ

27 English Section

2020年に向けて、 そしてその先へ。

世代を超えて、国境を越えて、言葉を越えて、
感動というかけがえのない感情を共有できる「スポーツ」。
私たちゼビオグループは3つの価値をご提案します。
「商品価値」、「使用価値」、「感動価値」それぞれの価値やご提案の中で
スポーツの持つ可能性を追求し、その価値の最大化に取り組み、
みなさまの夢を叶えるお手伝いが我々のビジョンであると考えています。



スポーツを楽しむすべての人へ。

スポーツによって非日常体験をテーマにした店舗は、
お客様にワクワクしてご来店いただくために、店内には
往年の名選手たちのユニフォームやサインが入った用
具が並ぶ「スポーツの殿堂」などの演出とともに、圧倒
的な品揃えと常に変化する売り場構成により、毎回訪
れるたびに違う発見ができる空間づくりを行っています。

この中で、スポーツの楽しさを伝え、スポーツに大き
な目標や夢を抱くことの大切さ、そしてスポーツを通し
て親から子へ大切な想いをつなぐ橋渡しとなるような
「心が躍る」「会話が弾む」「感動体験が得られる」、
何度でも訪れたい場所となることを目指しています。

また、通勤や通学、何気ない日常生活の合間など
に、ふと「スポーツをしたい」と思った時、すぐに立ち
寄っていただける身近な場所にも店舗を設けること
で、お客様の熱い気持ちやモチベーションをサポート
し、都心部では、エキナカやエキチカなど「駅」を中心
として毎日多くの人が行き交う場所に「スポーツカジュ
アル」を中心とした品揃えの店舗を出店。スポーツに対
する幅広い客層をターゲットにした売場構成を行い、
お客様のすぐ近くで夢の実現に向けたサポートをした
いと考えています。



地域を知り、根ざし、そして応える。

それぞれの地域特性に合わせたマーチャндаイジング
を実現し、全国どこであってその地域に愛される店づ
くりを行っていくことがオンリーワン企業を目指すゼビオ
グループの役割であると考えています。そのため、人口
が多く情報発信力もある首都圏店舗では、実際にアス
リートとして活躍する選手や販売のプロが店舗に立つ
ことにより、そこで得たさまざまな最新情報を共有し、
売り場づくりなど地方店舗にも即座に波及できる体制
を整えています。

一方、地方では、店舗そのものがより深く地域に根ざ
す身近な存在となり、きめ細やかでスピーディにニーズに

お応えできる運営を行っています。首都圏でも地方で
も、その土地を熟知しお客様の声に応えることが結
果的に地域活性化への貢献となるはず。それを推
進していくためにも、全員が「こだわり」と「プライド」を
持ったプロフェッショナル集団であり、常にお客様の
期待以上の満足を提供し続けることにより、地域一番
店の地位を築くことを目指しています。

ゼビオグループは、お客様のニーズに応える複数店舗
業態の展開により、首都圏や地方をカバーできる総合力
を高めています。





「接点」を増やし、ビジネスモデルの差別化を推進。

ゼビオグループは、一つの店舗の中で、お客様との「接点」を長く持ち続けることを強みとしています。それは、「スポーツナビゲーター[®]」と呼ばれる仲間の存在です。スポーツナビゲーター[®]は、初めてスポーツに触れる方から、さらなるレベルアップを目指すプレーヤーに至るまで、お客様との接点から「商品価値」「使用価値」「感動価値」の3つのバリューポイント[®]を提供しています。私たちは、「気持ちよく買い物ができた。また遊びに行きたい」と、スポーツをより身近に、より安心して、誰でも楽しんでいただけることを最大の喜びとして、スポーツ用品の定義を拡張し、スポーツ周辺を充実させる領域の最大化を推進しながら、スポーツを取り込んだ

新たなライフスタイルの提案を目指しています。

ゼビオグループでは、スポーツと親和性のあるカテゴリーを事業や自社ブランドとして展開することにより、モノを買った後の悩みについて「コト軸」を中心にお客様のスポーツライフを総合的にサポートしています。「健康」や「未病」を目的に拡大するスポーツ人口への対応をはじめ、スポーツをする人の「より楽しく、より快適に」という想いに合致したモノからコト軸へのシフトは、ご購入いただいた商品に関する悩みなどを解決した上で、さらに新たなニーズを発掘することにもつながります。



新たなスポーツビジネスを創造し、価値の最大化を目指す。

ゼビオグループでは、様々なスポーツカテゴリーにおいて、常に新たなスポーツビジネスのありかたを追求しています。

ゴルフカテゴリーにおいては、プラットフォームの構築により、お客様に快適なゴルフライフとゴルフを通じた豊かなライフスタイルの提案を掲げています。そして、新品のゴルフクラブ販売、中古クラブの買取り及び販売、練習場経営やゴルフレッスンの展開、ゴルフ場予約サイト運営など、グループにしかない独自のゴルフビジネスネットワークを生かし、多角的にゴルフプレーヤーとの「接点」を持ち続けることを目指しています。

競技自体の魅力はもちろん、伝統やルール、礼儀といった教育的要素も含まれることから、永続的に多くの

ことが学べるゴルフは、老若男女問わず楽しんでプレーできる生涯スポーツです。私たちは「子どもから高齢者まですべての層にアプローチできる強み」「初心者からアスリートまで競技レベルに関係なくサポートできる体制」そして「地方や首都圏など地域特性に特化した店舗によるきめ細やかな対応と運営」という3つを軸に、ゴルフの魅力や素晴らしさを伝える役割を担っています。

ゴルフなどのスポーツの可能性を追求し、小売りとどまらず、上達やスポーツ観戦の環境も提供しながら、今後シュリンクへ向かうと言われているゴルフマーケットの価値を最大化することで、今後の新しいスポーツビジネスのありかたにチャレンジしています。



スポーツで叶える。

私たちゼビオグループは創業当初、紳士服小売としてその歩みをスタートさせました。その後時代の変化とともに、カジュアル衣料、スポーツ用品へと業態を転換し、持続的な成長を遂げしてきました。2002年以降には、多くの変革を経ながら、経営資源をスポーツ事業へ集中させていくとともに、「ヴィクトリア」や「ゴルフパートナー」をグループに招き入れるなど、市場を面で捉えた事業の拡大に努め、その後、スポーツ周辺事業への取り組みを通じ、「スポーツ」を基軸に立体的にその活動領域を拡大し続けてきました。

これらの変遷を通じ、現在ゼビオグループは、中長期的にグループ事業基盤の柱となる小売り事業について業態の進化を図りながら、地域に根付き愛される店舗づくりを推進していきます。

デジタルコンテンツがスポーツの可能性を拡大させる

中長期的経営戦略の基盤となるプラットフォームはお客様の「買う」機会の接点を構築するだけではありません。ITやその他テクノロジーの進化に伴い、デジタルがスポーツの可能性を大きく拡大させています。「スポーツ動画配信サービス」、「eスポーツ」、「スコアのデータ可視化」、「メディアの多様化」。この新たなデジタルコンテンツの出現によるスポーツへの可能性拡大は私たちにとって大きな機会となり、スポーツを「知る」「する」といった新たな価値の創出につながります。リアル店舗を持つ小売業であることを強みに、デジタルコンテンツとの融和性を高め、これからもお客様満足度向上に努めます。

高齢化・多様化がもたらす機会

スポーツは健康社会の実現に大きく貢献することができます。高齢化社会の影響が問題提起され、健康を望む人が増えている今、多くの人にとってスポーツは、身近に楽しめるものになっています。この大きな変化をビジネスの機会が広がる好機ととらえ、異業種や各種スポーツ団体、地域と連携して、スポーツの可能性を最大限に引き出すことが重要となってきます。これらの事業活動を通じて、スポーツビジネスとしての価値を最大化させ、その結果としてスポーツの健全で持続的な発展に貢献していきます。

2020年とその先に向けて。
ITやその他テクノロジーの発展による人的労働の自動化、世界的M&Aの拡大、人口動態の急速な変化など、私たちを取り巻く世界環境は常に変化をしています。これからもスポーツを軸にさまざまな事業を発展させ、多くの人がスポーツによってこころが動く未来を、スポーツで叶えることができる社会の実現を目指します。



お客様とともに

Moving forward together
with our customers



スポーツで寄り添う

フルマラソンに初挑戦するお客様が来店されました。

『昔、膝を悪くして不安があるので、保護用の機能性タイツを見に来たのですが、どれを選べばいいかよく分からないし、機能性タイツってこんなに高いのですね…。』

そこで、機能性タイツの効能について、身体の仕組みを交えながらご説明させて頂きました。また、膝への負担の軽減効果が見込まれるインソール(靴の中敷き)も合わせてご紹介させて頂き、最終的に両方をご購入頂けました。

『身体のしくみから、機能性タイツの重要性まで分かりやすく説明して頂き、とても満足して買い物ができました。』

マラソン大会が終わり、お客様からご連絡を頂きました。

『フルマラソンを無事に完走することができました。本当にありがとう!』

私も自分のことのように嬉しくなりました。

『またお店に足を運びますね。その時もぜひあなたに接客をしてもらいたいです。本当にありがとうございました。』

このようにゼビオグループには様々な想いを持ってお客様が来店されます。

たくさんあるお店の中からゼビオを選んで頂けることだけでなく、お客様に寄り添いつつ、その想いを共有し、共に喜び合える関係の構築を許容頂けることにも、感謝の念が絶えません。

これからも、お客様と良好な関係を築き、お客様の期待を超えるサービスを提供し続けられるよう、「お客様第一主義」に基づいた事業活動に取り組んでいきます。

スポーツナビゲーター®とともに

Moving forward together with Sports Navigator®



スポーツで認めあう

私たちゼビオグループには、創業から受けつがれている精神があります。

- ・全ての社員が自ら考え、行動する精神
- ・仲間やお客様と向き合い、喜びや感動を創り出す精神
- ・変化し続けるために全力を尽くす精神

私たちの日々の仕事がお客様にどのような付加価値を提供できるかを考え、その価値によりもたらされる喜びや感動を想像し、急速に変化するお客様のニーズに対し、これらの価値を常に提供し続ける為に不断の努力を継続します。私たちの精神は、全力でお客様に向き合い、尽くすことの重要性を説くとともに、これを達成する為に必要となる心構えを表しており、創業以来脈々と受け継がれてきました。

また、ゼビオグループではダイバーシティ経営を推進しています。

多様性を内在しているスポーツと関わっているゼビオグループは、すべてのお客様と全スポーツナビゲーター®が様々な形でスポーツを通して明るい未来を目指せる環境を整えるために、次のような具体的施策を推し進めています。

- ・女性活躍推進
- ・外国人・外国籍人材の活用推進
- ・障害者雇用拡大と活躍推進
- ・働き方の多様性への取り組み

私たちは、スポーツのちからを信じ、さらにスポーツのちからで実現できることがますます増えていくと考えています。ゼビオグループで働く全てのひとは、その信念と私たちの精神をここに秘め、スポーツを通じてお客様の想いを叶えるお手伝いをしていきます。

お取引先様とともに

Moving forward together
with our business partners



スポーツでつながる

私たちにとって、重要なステークホルダーの一員であるお取引先様。多様化するお客様のニーズに応え、お客様に喜ばれる商品を提供するために、私たちは商品を供給頂いているお取引先様との協力関係を強化しています。

ゼビオグループのコア事業である小売業は、お客様に商品を届ける最終ランナーの役割を担っています。それはつまり、作り手を始め、お客様にお届けする商品に携わる全ての方の想いがつまったバトンを、確実にお客様にお届けする使命を託されると同時に、その想いを受け取ったお客様から、直接その声を聞くことができるポジションでもあります。

その商品を受け取ったお客様の想いを、その商品にこれまで携わってきた方々へ適切にフィードバックすることも、私たちの重要な使命と捉え、お客様満足の向上をお互いに追求し合う関係の構築に努めています。

「その商品をご利用される全てのひとに幸福を感じて頂く。」この信念をお取引先様と共有し繋がることで、お取引先様との協業を深耕し、「WIN-WIN」の関係を構築しながら持続的な成長を遂げていきたいと考えています。



株主様とともに

Moving forward together
with our shareholders

スポーツで伝える

当社の主なIR活動は、半期に一度機関投資家様及び報道機関様向けの決算説明会開催に加え、四半期毎に決算発表資料の開示及び証券会社様主催のスマールミーティングへの参加を実施しています。またホームページ上では、「決算短信」「決算発表資料」「事業報告書」に加え、月次売上高前年比やプレスリリースを開示することで、当社の状況を株主の皆様へお伝えしています。

また株主様には、ゼビオグループ店舗のお客様でもあって欲しいとの願いから、一定の株式数を保有される株主様に対し、店舗でご使用頂ける株主御優待券を進呈しています。株主様に実際にご来店頂き、ゼビオグループの取り組みや取扱い商品を肌で感じて頂き、またスポーツと向き合うことで、これまで以上にスポーツの素晴らしさを体感して頂きたいと考えています。

私たちは長期に渡り株主様との関係性を構築していきたいと考え、「安定的な配当の実施による中長期的な株主還元」を基本方針として取り組んでいきます。



スポーツで育む

私たちの考えるCSR活動とは、スポーツが持つ「夢」や「感動」を次世代にお伝えし、希望に満ちた明るい未来を構築していくことだと考えています。

スポーツの可能性を信じ、スポーツによって私たちが住むこの国を元気に、豊かにしていきたい。
ゼビオグループは、いちばんスポーツに近い場所で今の気持ちを忘れずに、
スポーツを応援する今日を築いていきます。

「ここを動かすスポーツ」

このステートメントにもあるように、私たちは事業を通じて、
一人でも多くのお客様にここを動かす体験や機会を創出しています。
私たちにとって当たり前のようなひとつひとつの行動はスポーツ産業・業界全体のみならず、
私たちが住んでいる地域全体をも活性化させることが出来る力を持っています。

スポーツの形は、
「見る・応援する」「ファッション」「コミュニティ」「教育」「健康維持・促進」などさまざまです。
ゼビオグループが有するアセットを活かし、
各団体等と連携を図りながら、次世代を担う子どもたちに夢や感動を与え、
明るい社会づくりを目指し、これからも活動を推進していきます。

スポーツが平和の象徴であり、
今後もスポーツがあって当たり前と、素直に思えますように。

憧れの選手と共に夢の舞台へ

スポーツは、挨拶、礼儀作法や「悔しさ」「勝利への喜び」「協調性」「コミュニケーション力」「競争力」「目標設定」など、人間の成長段階で必要とされる経験を子どもたちに寄与できるものと考えています。ゼビオグループでは、子どもたちの夢や感動をサポートし、将来を担う子ども達の育成に貢献できるよう、活動を推進していきます。

地域に根差す企業としてゼビオグループは、スポーツを通じたコミュニケーションの場を提供すると共に、競技技術向上と競技人口拡大、青少年の健全育成等に役立ちたいと考え、バスケット・ゴルフ・テニス・野球・フットサルをはじめとして、全国各地で様々な競技の大会やイベントのサポートを行っています。スポーツの振興、健康で豊かな社会の構築、スポーツの底辺拡大を目指し、今後もこの取り組みを継続していきます。



One world. One team.

本業である「スポーツ」を軸に、スポーツの文化振興や将来を担う子どもたちへの育成支援を、一般社団法人ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーションと協働しながら活動に取り組んでいます。近年では少子高齢化とともに身体を動かす機会の減少から子どもたちの体力低下が示唆されています。トップアスリートの直接指導や様々なスポーツを体験し、競技の多様性に触れることで自身の能力や興味、スポーツへの関心を持つことへ繋がります。スポーツ普及振興のみならず教育的視点からスポーツの持つ力を活用し、健全な社会の醸成に貢献していきます。



命の温かさを知る

毎年1月には、都内で子どもたち向けに雪遊びが体験できる機会を提供しています。冬のスポーツでは楽しさだけではなく、自然の中にある命の温もりや自然の雄大さを肌で感じる事が出来ると考え、このような地域のイベントにも積極的にサポートをしています。

また、ゴミ拾いをしながら歩くエコトレッキングツアーを富士山麓で毎年行っており、山の偉大さと自然への尊敬、感謝の念をトレッキングを通じて実感していただいています。自然とスポーツとのかかわりの中で貴重な経験は、すべてのひとの成長に大きく寄与すると考え、自然の中で環境保全を学ぶ機会を創り続けていきます。

地域に愛される店舗づくり

地域とともに歩む店舗運営をめざし、未来ある多くの子どもたちが安心して安全な環境の中で、すくすくと心身ともに成長できるよう活動を続けていきます。子どもたちの笑顔がますます増えることを願い、人間と自然が共生する環境づくり、各地域の魅力と誇りを再認識し、そして発信していくことが私たちの社会貢献と捉え、今後も発展的活動と地域の活性化に努めていきます。



コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

企業の経営環境が大きく変化し、従来型の経営手法ではグローバル化した環境変化には対応できない中で継続的に企業価値を高めていくために当社は、コーポレート・ガバナンスが重要な経営課題であり、また、企業活動を牽制する仕組みであると認識しています。このような中で、当社は当時としていち早く取締役会と執行役員制度を導入しました。社長、取締役、監査役を中心とする相互監視ならびに社外取締役、社外監査役の選任によって、経営の透明性、法令遵守、説明責任を確保しています。

また、経営の中立性・客観性の確保及び一般株主の保護の強化を目的とし、社外役員の中より一名を独立役員として選任しております。これらにより当社は経営組織の改革に対して継続的に取り組み、コーポレート・ガバナンスの強化を進めていきます。

コーポレート・ガバナンスに関する施策の実施状況

1 会社の機関の内容及び内部統制システムの整備状況等

当社は2015年10月1日より純粋持株会社体制に移行しました。持株会社の傘下には、6社の中核子会社(グループ内子会社群を機能別にグルーピングしたチームのHQとしてチーム内のその他子会社に関する管理責任と権限を有する)を配置し、グループシナジーの醸成とグループガバナンスの強化を果たす体制を採用しています。

2 リスク管理体制の整備状況

リスク管理体制は、財務面については会計監査人や社外監査役等において定期的に監査が行われ、法務面については社外弁護士から適宜助言・指導を頂いています。また、コンプライアンスについても、役員・全従業員による法令・社内ルール・倫理規範の遵守徹底を図るための社内体制整備に注力しています。

Basic Concept of Corporate Governance

In a world where the business environment is changing rapidly and conventional management approaches fail to meet changes in the global economy, XEBIO Group recognizes that corporate governance is an important management challenge and its system plays a major role in controlling business activities for raising corporate value. Against this background, we are ensuring the transparency of corporate management, legal compliance, and accountability through conducting mutual surveillance mainly by the president, directors of the board, auditors and through the appointment of external directors and auditors. Also, to ensure the neutrality and objectivity of management and strengthen the protection of general shareholders, we have appointed one external director as an independent director from among the external directors. We are committed, by taking these actions, to continuously innovating the company's management systems and strengthening corporate governance practices.

Implementation of measures for corporate governance

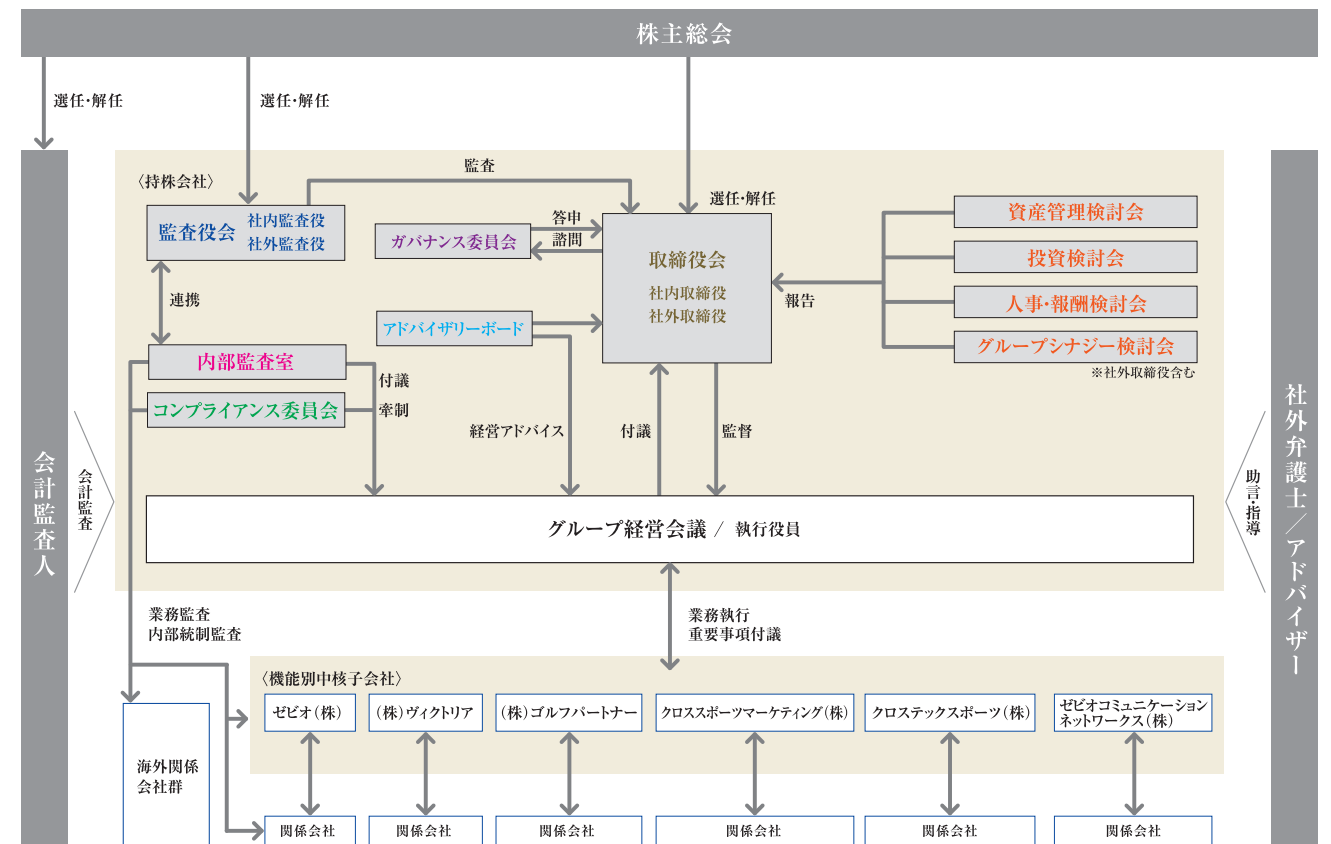
1 Company organization and development of internal control system

XEBIO Group transformed itself into a pure holding company in October 2015. Under the umbrella of the holding company, six core group companies (which were established by grouping XEBIO Group companies according to their functions, and each of which has the responsibility and authority to control its subsidiaries under its umbrella as the headquarters of the team) are located to promote group synergy and strengthen group governance.

2 Development of the risk management system

Our risk management system operates in two areas. In the financial area, auditing is implemented on a regular basis by accounting auditors, external auditors and other qualified persons, and, in the legal area, external attorneys give us advice and guidance as needed. Further, our compliance program ensures that all directors of the board and employees thoroughly comply with all laws and regulations, corporate rules and ethical codes of conduct.

コーポレート・ガバナンス体制図



取締役会と執行役員制度

2018年6月28日現在、取締役会は取締役5名（うち社外取締役3名）で構成され、経営の管理・監督と業務執行の明確な分離及び迅速な意思決定と責任の明確化を推し進めるべく、執行役員制度を導入しています。なお取締役には社外の有識者を選任し（2018年現在は、弁護士、商社出身者、銀行出身者）、執行役員には、グループガバナンス強化の観点より、中核子会社の執行権限と、責任を担う中核子会社社長を中心に選任しています。経営の基本方針に関する重要事項を検討する機関といたしましては、取締役及び執行役員が構成メンバーになっている「グループ経営会議」を定期的に開催しています。なお、取締役の任期につきましては1年とし、経営責任をより明確にしています。

監査役会

当社は、監査役会設置会社です。監査役会は、社外監査役2名（財務、税務の専門家）と1名の常勤監査役が、それぞれの立場から取締役を監視・監査しています。また、内部監査室と毎月報告会を開催し、相互連携を図っています。会計監査は、有限責任監査法人トーマツが会計監査業務を担っています。内部監査室、監査役及び会計監査人は、それぞれの間で定期的な連絡会を開催して報告を受けるなど連携を密にし、監査の有効性と効率性の向上に努めています。また、後述の各委員会の設置による経営への牽制機能により、監査役会設置会社でありながら、指名委員会等設置会社の仕組みを加え、当社にとって最適なガバナンス体制を構築しています。

ガバナンス委員会

グループの持続的な成長と中長期的な企業価値向上に重要な事項について、実効性のある議論を行う場として、代表取締役と独立社外取締役及び独立社外監査役で構成される諮問機関として設置しています。

各種検討会

取締役会に付議する重要案件を精査・検討する機関として社外取締役を加え、透明性と客観性を担保した「投資検討会」「人事・報酬検討会」「資産管理検討会」、「グループシナジー検討会」を設置しています。

アドバイザーボード

当社グループの中期ビジョン達成に向けての経営課題、コーポレートガバナンス、当社グループが解決していきたい社会的課題への取り組みやその方向性について、幅広い見識を持つ社外の有識者から意見をを得ることを目的として設置しています。

コンプライアンス委員会

各会社に設置しているコンプライアンス推進機関を総括的に管理し、各社状況の確認と指導、並びに各会社で発生する事例を共有することで、グループ全体として更なるコンプライアンスの推進を担うことを目的として設置しています。

内部監査室

内部監査は、内部監査室を設置し室長以下スタッフが全てのグループ内関係会社の業務・内部統制監査を実施し、監査役とともにリスク管理とコンプライアンスの徹底・指導強化に努めています。

XEBIO Group's corporate governance structure is composed of the board of directors, the corporate officer system, the board of corporate auditors, governance committee, compliance committee, meetings to discuss various issues, internal auditing department, and the advisory board.

1973年 7月

紳士服販売を目的として、福島県いわき市に株式会社サンスーツを設立。



1979年 8月

株式会社サンキョウに商号を変更し、本店を福島県郡山市に移転。

1979年 11月

福島市の旧長崎屋ビルにファッション&スポーツをテーマとした当社初の大型店を出店。

1983年 11月

郊外型スポーツ店の「トップスポーツ並木店」を郡山市に出店。

1984年 10月

郊外型メンズ店の「サンキョウ安積店」を郡山市に出店。

1985年 11月

郊外型カジュアル単独店の「メンズキャパ桑野店」を郡山市に出店。



1987年 11月

ゼビオ株式会社へ商号を変更。

1988年 4月

社団法人日本証券業協会東京地区協会に店頭登録。

1988年 7月

福島県郡山市朝日三丁目7番35号に新本社屋を竣工。

1990年 5月

東京証券取引所市場第二部に上場。

1990年 7月

当社初の郊外型ゴルフ専門店「ゼビオスポーツ勝田店」を茨城県勝田市(現・ひたちなか市)に出店。

1991年 4月

株式会社磐梯リゾートホテル(現・清稜山株式会社)の株式を100%取得、子会社化。

1992年 10月

本宮物流センター竣工。

1992年 12月

郊外型大型複合店「スーパースポーツゼビオ仙台東中央店(1フロア1,000坪)」を宮城県仙台市に出店。

1995年 9月

東京証券取引所市場第一部に指定替。

1996年 6月

英国の製造小売りチェーン「ネクスト社」と業務提携契約を締結。

1999年 11月

国内最大級の売場面積(約2,500坪)を持ち自然をテーマにした「スーパースポーツゼビオドーム札幌月寒店」を北海道札幌市に出店。

2002年 3月

ゼビー業態を廃止し、スポーツ業態へ統合。

2004年 7月

ゼビオビジネスサービス株式会社を設立(現・ゼビオコーポレート株式会社)

2005年 4月

株式会社ヴィクトリアの株式を100%取得、子会社化。



2005年 8月

ゼビオインシュアランスサービス株式会社を設立。

2006年 6月

ゼビオカード株式会社を設立。

2008年 7月

ゼビオナビゲーターズネットワーク株式会社を設立。

2008年 10月

株式会社ゴルフパートナーの株式を公開買付けにより取得し、子会社化。

2009年 4月

株式会社ゴルフパートナーを簡易株式交換により完全子会社化。

2010年 6月

日本最大級の体験型スポーツモール「スーパースポーツゼビオドームつくば学園東大通り店」を茨城県土浦市に出店。



2011年 5月

クロススポーツマーケティング株式会社を設立。

2012年 2月

中華人民共和国上海市に賽標(中国)体育用品有限公司を設立。

2012年 4月

大韓民国ソウル市に株式会社ゼビオ 코리아を設立。

2012年 6月

海外第1号店「スーパースポーツゼビオ上海浦東店」を中華人民共和国上海市に出店。

2013年 3月

海外第2号店「スーパースポーツゼビオソウルウルチロ店」を大韓民国ソウル市に出店。

2013年 12月

株式会社ネクサス設立。(現 株式会社ヴィクトリア ネクサスカンパニー)北東北で総合スポーツ専門店として展開していた株式会社タケダスポーツから23店舗の営業を譲り受ける。

2015年 10月

純粹持株会社体制へ移行。

ゼビオホールディングス株式会社のもとに中核会社6社を配置。

2016年 2月

日本初のPGA TOUR公認ゴルフショップを出店。

2018年 4月

株式会社ゼビオ 코리아を株式会社ゴルフパートナー 코리아に商号変更。

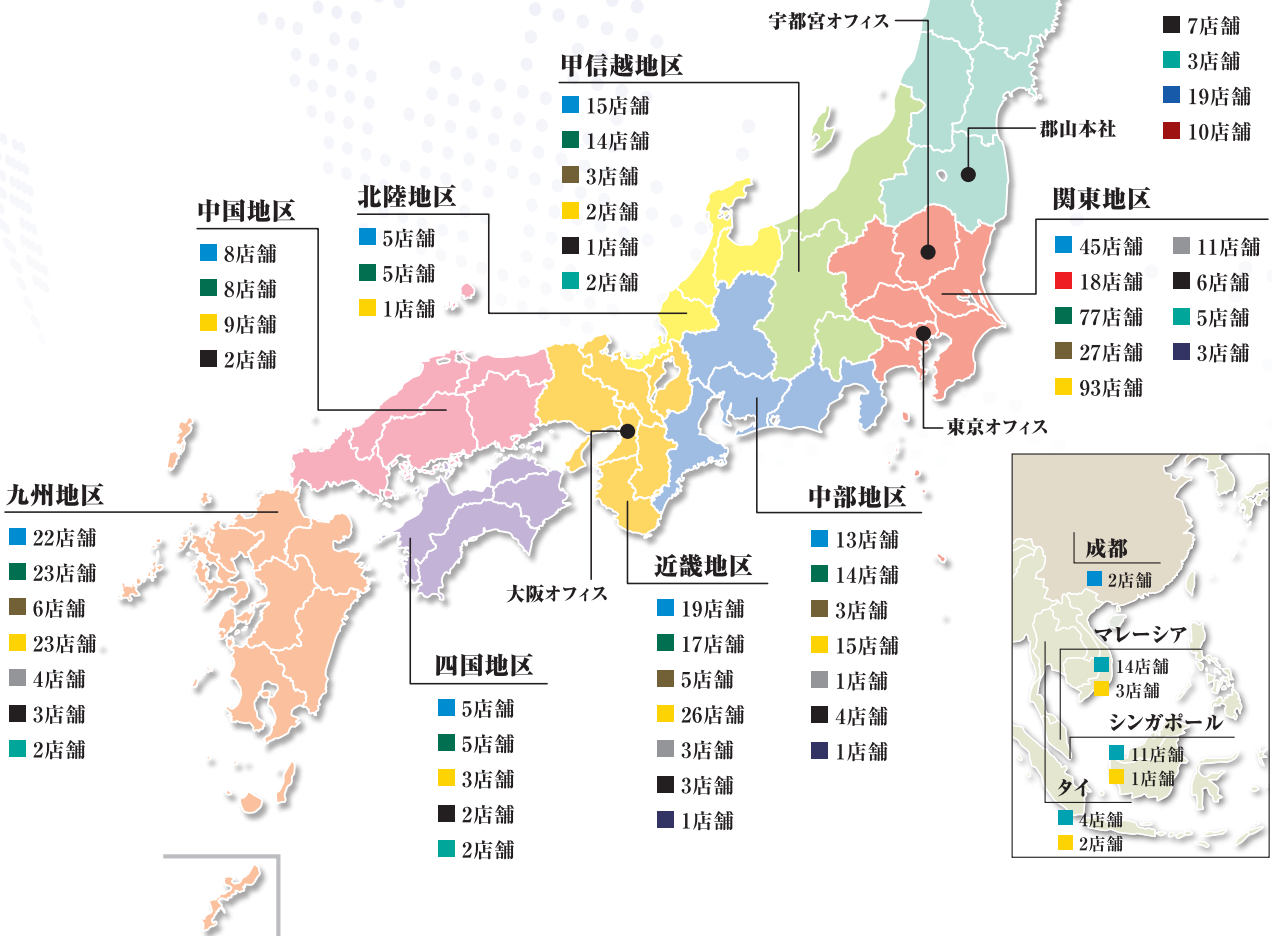
2018年 5月

ゴルフパートナー韓国1号店「ゴルフパートナー ウィレ新都市店」出店。

ゼビオグループ 772店舗 (FC除く)

2018年3月31日現在

	看板	特徴	店舗数
■		あらゆるスポーツ用品・用具を取り揃えた大型総合スポーツ専門店	173
		地域特性に合わせた品揃えとサービスを展開する総合スポーツ店	
■		世界36か国に700店以上を展開するイギリス最大のSPAブランド	32
	X'tyle	カジュアルスポーツウェアショップ	
■	X'tyle vision	度付レンズ対応可能なスポーツサングラスを扱うスポーツメガネ専門店	30
■	Xiasis	アスリートのコンディショニングをサポートするスポーツドラッグストア	14
■	Victoria	都市型オールスポーツショップ	18
■	Victoria Golf 他	幅広い方に対応できる商品ラインアップとサービスのゴルフ専門店	199
■	L-Breath	ファッション感覚にあふれたアウトドア専門店	47
■	GOLF Partner	中古ゴルフ業界No.1のネットワーク、55万本の在庫からびつたりの本を	196
	FESTIVAL GOLF	中古ゴルフ業界のバイオニア、豊富な在庫と安心価格	
■	NEXAS	北東北で地域特性に合わせた品揃えとサービスを展開する総合スポーツ店	29
■	Takeda Sports	東南アジアにおけるゴルフ用品専門店	29
■	TRANSVIEW 他	トレーニング機器展示販売などその他の専門店	5



- July 1973 Established as Sansuits Co., Ltd. in Iwaki City, Fukushima Prefecture, selling formal suits for men.
- November 1987 Trade name changed to XEBIO Co., Ltd.
- July 1988 New head office completed at 3-7-35 Asahi, Koriyama City, Fukushima Prefecture.
- December 1992 Suburban large complex “Super Sports XEBIO Izumi-Chuo Sendai” (3,300 m², one floor) opened in Sendai City, Miyagi Prefecture.
- September 1995 Listing changed to the first section of the Tokyo Stock Exchange.
- April 2005 Acquired 100% of shares of Victoria Co., Ltd.
- April 2009 Acquired full ownership of Golf Partner Co., Ltd. by simplified share exchange.
- June 2010 Japan's largest hands-on sports mall “Super Sports XEBIO Dome Tsukuba Gakuen-higashi Odori Store” opened in Tsuchiura City, Ibaraki Prefecture.
- February 2012 XEBIO China Co., Ltd. established in Shanghai, China.
- April 2012 XEBIO Korea Co., Ltd. established in Seoul, Korea.
- December 2013 NEXAS Co., Ltd. (present NEXAS Company, in-house company of Victoria Co., Ltd.) established.
- October 2015 Transition to a pure holding company completed.

連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)		
	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,226	16,563
受取手形及び売掛金	19,071	19,902
営業貸付金	1,826	1,715
商品	64,349	74,633
繰延税金資産	1,587	1,791
その他	6,470	7,655
貸倒引当金	△ 623	△ 537
流動資産合計	117,908	121,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	48,250	47,717
減価償却累計額	△ 30,796	△ 32,323
建物及び構築物(純額)	17,453	15,394
土地	15,484	15,463
リース資産	3,945	3,396
減価償却累計額	△ 1,391	△ 1,309
リース資産(純額)	2,554	2,087
建設仮勘定	124	126
その他	18,014	17,980
減価償却累計額	△ 14,240	△ 15,198
その他(純額)	3,774	2,781
有形固定資産合計	39,391	35,853
無形固定資産		
のれん	3,586	2,662
ソフトウェア	1,626	1,409
その他	1,257	1,555
無形固定資産合計	6,470	5,627
投資その他の資産		
投資有価証券	1,058	1,157
長期貸付金	39	31
繰延税金資産	2,455	2,634
差入保証金	4,025	3,440
敷金	14,068	14,270
投資不動産	3,726	3,114
減価償却累計額	△ 1,997	△ 1,333
投資不動産(純額)	1,729	1,780
退職給付に係る資産	595	636
その他	1,070	1,282
貸倒引当金	△ 68	△ 307
投資その他の資産合計	24,973	24,927
固定資産合計	70,836	66,407
資産合計	188,744	188,131

(単位:百万円)		
	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,576	16,336
電子記録債務	28,853	27,339
短期借入金	190	-
未払法人税等	3,046	3,057
賞与引当金	1,224	1,280
役員賞与引当金	15	15
ポイント引当金	1,593	1,580
その他	11,261	10,739
流動負債合計	63,761	60,349
固定負債		
長期借入金	-	75
リース債務	2,719	2,455
繰延税金負債	91	91
退職給付に係る負債	756	808
役員退職慰労引当金	59	59
資産除去債務	4,139	4,190
その他	437	418
固定負債合計	8,203	8,099
負債合計	71,965	68,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,935	15,935
資本剰余金	16,149	16,136
利益剰余金	89,353	92,038
自己株式	△ 5,736	△ 5,693
株主資本合計	115,701	118,417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	280	309
為替換算調整勘定	587	701
退職給付に係る調整累計額	△ 224	△ 248
その他の包括利益累計額合計	643	762
新株予約権	433	480
非支配株主持分	1	21
純資産合計	116,779	119,682
負債純資産合計	188,744	188,131

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 (連結損益計算書)

(単位:百万円)		
	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	223,353	234,595
売上原価	134,181	141,833
売上総利益	89,171	92,761
販売費及び一般管理費	81,743	81,840
営業利益	7,428	10,921
営業外収益		
受取利息	113	94
受取配当金	17	16
為替差益	-	40
不動産賃貸料	743	731
業務受託料	359	361
その他	297	475
営業外収益合計	1,530	1,719
営業外費用		
支払利息	10	5
為替差損	315	-
不動産賃貸費用	697	634
業務受託費用	383	354
貸倒引当金繰入額	2	230
その他	50	27
営業外費用合計	1,459	1,251
経常利益	7,499	11,389
特別利益		
固定資産売却益	293	2
受取保険金	372	-
特別利益合計	665	2
特別損失		
固定資産除却損	118	114
減損損失	1,151	2,059
災害による損失	318	-
店舗閉鎖損失	1	117
投資有価証券評価損	-	236
賃貸借契約解約損	-	4
特別損失合計	1,589	2,532
税金等調整前当期純利益	6,575	8,858
法人税、住民税及び事業税	3,949	4,989
法人税等調整額	△ 357	△ 387
法人税等合計	3,591	4,602
当期純利益	2,983	4,256
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△ 8	7
親会社株主に帰属する当期純利益	2,991	4,249

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)		
	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
当期純利益	2,983	4,256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45	28
為替換算調整勘定	37	114
退職給付に係る調整額	277	△ 23
その他の包括利益合計	361	119
包括利益	3,344	4,376
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,352	4,369
非支配株主に係る包括利益	△ 8	7

(3) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)		
	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,575	8,858
減価償却費	5,521	4,547
減損損失	1,151	2,059
のれん償却額	612	719
貸倒引当金の増減額(△は減少)	182	152
賞与引当金の増減額(△は減少)	96	56
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△ 59	△ 12
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	58	51
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△ 453	△ 41
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	-	△ 0
受取利息及び受取配当金	△ 130	△ 110
支払利息	10	5
受取保険金	△ 372	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	236
固定資産除却損	118	114
災害損失	318	-
店舗閉鎖損失	1	117
賃貸借契約解約損	-	4
売上債権の増減額(△は増加)	△ 1,026	△ 716
営業貸付金の増減額(△は増加)	132	111
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 6,959	△ 10,164
仕入債務の増減額(△は減少)	6,040	△ 2,895
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,078	△ 683
その他	343	△ 1,856
小計	13,240	555
利息及び配当金の受取額	73	60
利息の支払額	△ 10	△ 5
法人税等の支払額	△ 3,429	△ 5,301
法人税等の還付額	198	803
保険金の受取額	372	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,444	△ 3,887

(単位:百万円)		
	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 3,637	△ 1,836
有形固定資産の売却による収入	13	9
有形固定資産の除却による支出	△ 94	△ 110
無形固定資産の取得による支出	△ 1,047	△ 901
投資不動産の取得による支出	△ 9	△ 104
投資不動産の売却による収入	452	312
定期預金の預入による支出	△ 13	-
定期預金の払戻による収入	31	50
敷金及び保証金の差入による支出	△ 1,149	△ 755
投資有価証券の取得による支出	-	△ 51
敷金及び保証金の回収による収入	1,348	1,223
預り保証金の受入による収入	20	18
預り保証金の返還による支出	△ 62	△ 35
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△ 329
連結の範囲の変更に伴う子会社株式の取得による収入	-	13
その他	57	135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,090	△ 2,363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△ 105	△ 191
長期借入金の返済による支出	-	△ 2
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△ 460	△ 707
自己株式の取得による支出	△ 742	△ 0
ストックオプションの行使による収入	-	49
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△ 5	△ 12
配当金の支払額	△ 1,569	△ 1,562
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,882	△ 2,427
現金及び現金同等物に係る換算差額	185	65
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,656	△ 8,612
現金及び現金同等物の期首残高	21,519	25,176
現金及び現金同等物の期末残高	25,176	16,563

株式情報

(2018年3月31日現在)

証券コード: 8281

上場証券取引所: 東京証券取引所市場第一部

株式の状況

発行可能株式総数 135,000,000株

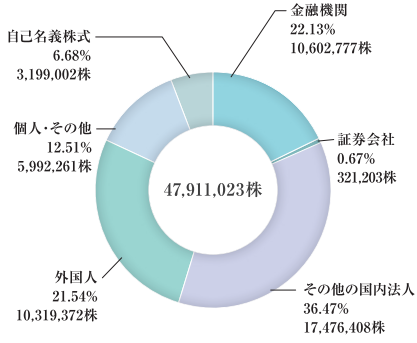
発行済株式の総数 47,911,023株

株主数 12,305名

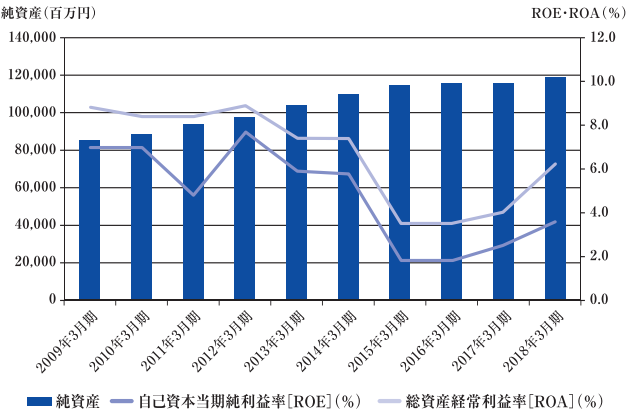
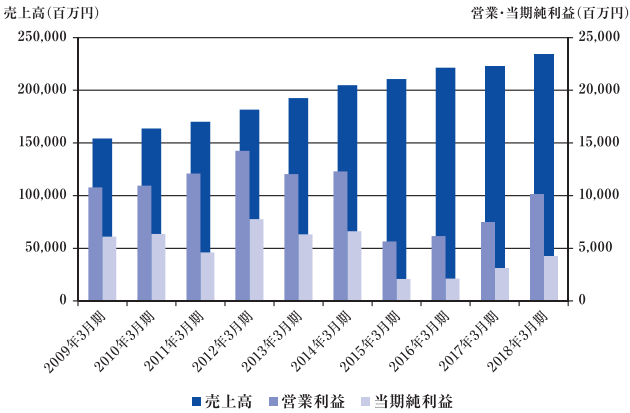
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社サンビック	8,252,605	18.5
公益財団法人諸橋近代美術館	4,500,000	10.1
有限会社ティー・ティー・シー	4,121,466	9.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,493,200	5.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口19)	1,827,300	4.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,505,600	3.4
諸橋 輝子	1,392,364	3.1
諸橋 友良	1,173,250	2.6
諸橋 寛子	900,897	2.0
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	813,440	1.8

※1.当社は、自己株式3,199,002株を保有していますが、議決権がないため、上記大株主から除外しています。また、持株比率は自己株式を控除して計算しています。
※2.信託銀行の所有株式数には、信託業務に係る株式数が含まれています。

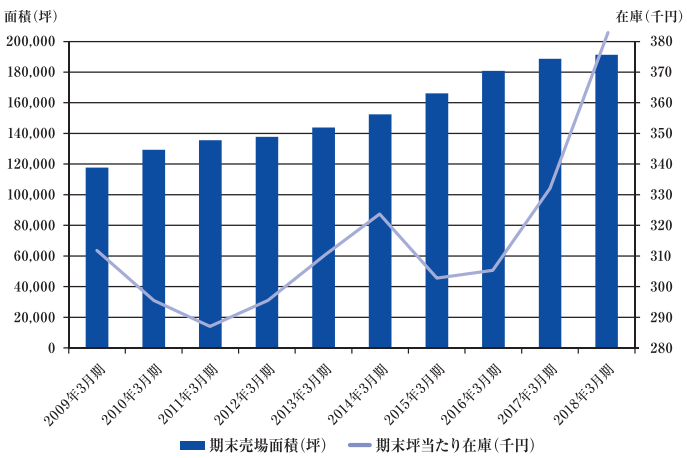
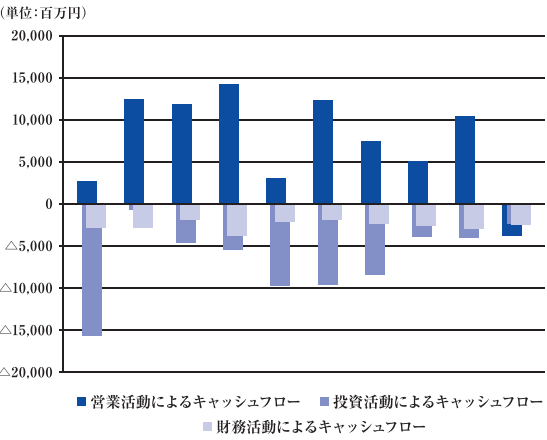
所有者別 株式分布状況



	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	(単位：百万円) 2012年3月期
経営成績				
売上高	154,159	163,664	170,183	181,577
売上総利益	59,613	62,202	65,731	71,730
営業利益	10,774	10,943	12,091	14,257
経常利益	11,979	12,048	12,797	14,658
当期純利益	6,105	6,355	4,618	7,772
財政状況				
流動資産	67,373	78,989	83,204	94,909
有形固定資産	34,990	34,994	35,319	36,363
無形固定資産	7,694	8,156	8,533	8,702
投資その他資産	28,605	26,152	25,507	24,784
資産合計	138,663	148,293	152,566	164,759
流動負債	45,942	49,074	48,091	54,642
固定負債	3,925	5,151	7,020	6,150
純資産	88,795	94,067	97,453	103,966
キャッシュフロー				
営業活動によるキャッシュフロー	2,724	12,476	11,910	14,221
投資活動によるキャッシュフロー	△15,661	△600	△4,547	△5,414
財務活動によるキャッシュフロー	△2,761	△2,798	△1,868	△3,694
1株当たり情報				
1株当たり純資産（円）	1,979.57	2,089.80	2,164.11	2,307.59
1株当たり当期純利益（円）	133.46	141.23	102.60	172.68
1株当たり配当金（円）	30.00	30.00	30.00	30.00
財務指標				
自己資本当期純利益率〔ROE〕（％）	7.0	7.0	4.8	7.7
総資産経常利益率〔ROA〕（％）	8.8	8.4	8.4	8.9
自己資本比率（％）	64.0	63.4	63.8	63.0
その他データ				
期末売場面積（坪）	129,389	135,529	137,715	143,882
期末坪当たり在庫（千円）	312	296	287	295



	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	(単位：百万円) 2018年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	3,092	12,385	7,424	5,138	10,444	△ 3,887
投資活動によるキャッシュフロー	△9,712	△9,552	△8,427	△3,913	△4,090	△ 2,363
財務活動によるキャッシュフロー	△2,088	△1,794	△2,293	△2,574	△2,882	△ 2,427
期末売場面積	152,453	166,168	180,796	188,755	193,193	191,890
期末坪当たり在庫	310	324	303	305	333	389



企業理念

公正な競争原理のもと、良質な人材、資金、組織を作り

〈お客様第一主義〉にもとづいた事業活動を通じて、社会貢献を果たしていくこと

経営の基本方針

一、量的指標ではなく、質的指標としての数値目標を設定します

一、ナンバーワンではなく、オンリーワン企業として事業の質的拡大を図ります

一、株主様、お客様、お取引先様、従業員、地域社会それぞれにオンリーワンとして認識していただける企業を目指します

社名の由来

XECHORISTOS + **B**IOS
(個性的な) (生活)

私たちは、‘XEBIO’のXから限りなく伸びるアンテナで時代に応じ、時代を読み、時代を創る個性集団として、次なる時代を牽引しつつつていきたいと考えます。

社名XEBIOには、当社の社会的使命をこめ、社会に向かって発する宣言から由来します。XEBIOの語源は、すべての現代語の根幹とされるギリシア語を組み合わせて創造されたもので、分解すると上記のようになります。

経営体制
Management Structure of XEBIO Holdings Co., Ltd. (2018年6月30日現在)

取締役及び監査役 / Directors & Corporate Auditors

代表取締役社長 諸橋 友良 President Tomoyoshi Morohashi	取締役 北沢 猛 Director Takeshi Kitazawa	社外取締役※1 谷代 正毅 External Director※1 Masatake Yashiro	社外取締役※1 石綿 学 External Director※1 Gaku Ishiwata	社外取締役※1 太田 道彦 External Director※1 Michihiko Ota
監査役 加藤 則宏 Corporate Auditor Norihiro Kato	社外監査役※2 小谷野 幹雄 External Corporate Auditor※2 Mikio Koyano	社外監査役※2 高久 敏雄 External Corporate Auditor※2 Toshio Takaku	※1 会社法第2条第15号に定める社外取締役 ※1 External director as stipulated in Article 2 Paragraph 15 of the Companies Act ※2 会社法第2条第16号に定める社外監査役 ※2 External corporate auditor as stipulated in Article 2 Paragraph 16 of the Companies Act	

執行役員 / Corporate Officers

副社長執行役員(事業運営担当) ゼビオ株式会社代表取締役社長 加藤 智治 Vice President, Corporate Officer, and President, XEBIO Co., Ltd. Tomoharu Kato	副社長執行役員(マーケティング担当) クロススポーツマーケティング株式会社代表取締役社長 中村 考昭 Vice President, Corporate Officer, and President, Xross Sports Marketing Co., Ltd. Takaaki Nakamura	執行役員(グループゴルフビジネス担当) 株式会社ゴルフパートナー代表取締役社長 石田 純哉 Corporate Officer and President, Golf Partner Co., Ltd. Junya Ishida	執行役員(グループ業務管理担当) ゼビオコーポレート株式会社専務取締役 大島 康夫 Corporate Officer and Senior Managing Director, Xebio Corporate Co., Ltd. Yasuo Oshima
執行役員(事業戦略担当) ゼビオコミュニケーションネットワークス株式会社 代表取締役社長 島貫 慶太 Corporate Officer and President, Xebio Communication Networks Co., Ltd. Keita Shimanuki	執行役員(グループ財務担当) 中村 和彦 Corporate Officer Kazuhiko Nakamura	執行役員(グループ計画担当) 株式会社ヴィクトリア代表取締役社長 藤澤 剛 Corporate Officer and President, Victoria Co., Ltd. Tsuyoshi Fujisawa	執行役員(グループブランド戦略担当) クロステックススポーツ株式会社代表取締役社長 村井 宏行 Corporate Officer and President, Cross Tech Sports Co., Ltd. Hiroyuki Murai

■ゼビオホールディングス株式会社 商 号 ゼビオホールディングス株式会社 (XEBIO Holdings Co., Ltd.) 本社所在地 〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-35 東京オフィス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14階 電 話 024-938-1111(代表) U R L http://www.xebio.co.jp/	
■ゼビオ株式会社 大型総合スポーツリテール「スーパースポーツゼビオ」を全国で展開。 圧倒的な売場面積にビギナーから上級者向けまで、豊富な品揃えをご用意。 加えてスポーツメガネ専門店やスポーツドラッグストアも構え、 スポーツを楽しむ方を総合的にサポート。 商 号 ゼビオ株式会社 (XEBIO Co., Ltd.) 字 号 〒320-0038 栃木県宇都宮市星が丘2-1-8 ヘッドオフィス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 東京オフィス 錦町トラッドスクエア14階 本社所在地 〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-35 事業内容 スポーツ用品・用具、紳士・婦人・子供服の販売 電 話 028-624-5134(代表) U R L http://www.supersports.co.jp/	■クロススポーツマーケティング株式会社 グループのマーケティングエージェントの立場として、販促・広報活動で グループを牽引。ゼビオグループのスポーツ振興活動や 社会貢献活動において、中心的役割を担う。 商 号 クロススポーツマーケティング株式会社 (Xross Sports Marketing Co., Ltd.) 本社所在地 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14階 事業内容 マーケティング事業、リサーチ・コンサルティング事業、 イベント・プロモーション事業、プロバイティ管理事業 電 話 03-5282-7655(代表) U R L http://www.xsmktg.com/
■株式会社ヴィクトリア 首都圏及び特定商圏に特化した総合スポーツリテール。世の中の トレンドをいち早く感知し、グループ店舗へ伝達するトレンドリーダー。 商 号 株式会社ヴィクトリア (Victoria Co., Ltd.) 本社所在地 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア12階 事業内容 スポーツ用品販売 電 話 03-5282-7700(代表) U R L http://www.victoria.co.jp/	■クロステックススポーツ株式会社 ゼビオグループのなかで、海外窓口業務、R&D業務を担当。 グループとして新たな試みに取り組む際のプレイン機能を一翼を担う。 商 号 クロステックススポーツ株式会社 (Cross Tech Sports Co., Ltd.) 東京 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 ヘッドオフィス 錦町トラッドスクエア2階 本社所在地 〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-35 事業内容 海外窓口業務、R&D業務 電 話 03-3294-7351(代表)
■株式会社ゴルフパートナー 中古ゴルフ事業、ゴルフ練習場事業を全国で展開。 中古ゴルフショップ「ゴルフパートナー」は、直営のみならず フランチャイズでも展開し、中古ゴルフ市場では圧倒的なシェアを誇る。 商 号 株式会社ゴルフパートナー (GOLF Partner Co., Ltd.) 本社所在地 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア13階 事業内容 総合ゴルフショップ「ゴルフパートナー」 フランチャイズチェーン事業、「フェスティバルゴルフ」事業、 練習場事業 電 話 03-5217-9700(代表) U R L http://www.golfpartner.co.jp/	■ゼビオコミュニケーションネットワークス株式会社 スポーツコングロマリットを成長させるグループプラットフォーム構築と デジタルの融合、そしてその事業収益最大化を担う。 商 号 ゼビオコミュニケーションネットワークス株式会社 (Xebio Communication Networks Co., Ltd.) 本社所在地 〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-7 東京オフィス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14階 事業内容 ゼビオグループ戦略構築 電 話 024-927-7715(代表)
主な連結子会社 サービス事業 ■クロスプラネット株式会社 インターネットを活用したスポーツ関連サービス事業、 ECサイト管理運営事業、ゴルフ場予約サービス事業 ■ゼビオカード株式会社 クレジットカード事業、割賦販売事業 http://www.xebiocard.co.jp/ スポーツ関連事業 ■東北アイスホッケークラブ株式会社 プロスポーツチーム運営(東北フリープレイズ) http://www.freeblades.jp/ 研修宿泊事業 ■国土観光株式会社 研修宿泊事業	
海外事業 ■賽標(中国) 体育用品有限公司 上海におけるスポーツ用品小売事業 http://www.xebio.cn/ ■賽標(成都) 体育用品有限公司 成都におけるスポーツ用品小売事業	
その他事業 ■ゼビオインシュアランスサービス株式会社 損害保険・生命保険総合代理店 http://www.xis.co.jp/ ■ゼビオナビゲーターズネットワーク株式会社 販売業務請負業、人材育成事業、人材派遣事業	



全てのステークホルダーの皆様へ

To All Our Stakeholders



ゼビオグループは「こころを動かすスポーツ。」をステートメントに掲げ、地域に愛されるオンリーワン企業としてスポーツの持続的発展に寄与し、全ての人の健康的で充実した未来の実現に向け、スポーツを中心とする事業の質的拡大を進めております。

スポーツには心身の成長を促すとともに、この国を豊かにする力があると考えています。私たちはお客様第一主義のもと、事業を通じてスポーツから得られる感動や体験を一人でも多くの方に提供できるよう邁進してまいります。

近年、スポーツを取り巻く環境には大きな変化が起きています。日本では今後数年にわたり様々な国際的スポーツイベントが開催されることから、スポーツに対する関心とともに、期待や熱意の高まりがこの国を豊かにする原動力となっていることをあらためて感じております。

また、健康や未病の観点でスポーツに取り組む方が増えるなか、呼応するようにスポーツに接するための様々な環境も整ってきています。私たちはこのような市場変化を好機と捉え、ゼビオグループ全員が一丸となり、さらに好環境を創造するべく、進化を続けてまいります。

スポーツの力で社会課題解決に貢献できることは無数にあります。世代を超えて、国境を越えて、言葉を越えて、スポーツが持つ可能性や価値を最大化していくことがゼビオグループの存在価値だと認識し、これからも皆さまに愛される企業グループであり続けられるよう努力してまいります。

代表取締役社長
諸橋 友良

X Who We Are

The group company name “XEBIO” comes from two Greek words: XEchoristos means “unique” while BIO means “life.”

XEBIO Group strives to continuously lead trends in the sports world as a group comprised of unique individuals who can sense and respond to the needs of our customers. This is represented by the “X” expanding like an antenna from XEBIO.

XECHORISTOS + **BIO**
“Unique lifestyle”

X What We Believe

“Sports that Move the Heart”

We see a very bright future for a country filled with people that are moved by sports.

Inside a fully packed stadium at a sporting event, we cannot imagine a different occasion where this many people feel and share together joy, triumph, disappointment, pride, passion and overall camaraderie.

How is it possible that a massive amount of people with different backgrounds and upbringings can feel as one?

We believe it stems from the very first time you truly experience sports.

The first time you finally achieve your new personal best after many failures.

The moments you seize victory.

And the moment you must accept defeat.

Each of these precious moments are accumulated in your heart which then grows with beauty and richness.

We see a very bright future for a country filled with people that are moved by sports.

Helping people to attain precious moments that move their hearts.

That is the job of every individual in XEBIO Group.

“Sports that Move the Heart”

XEBIO GROUP
ゼビオグループ

THE SUPER XEBIO
SPORTS

XEBIO SPORTS
EXPRESS

NEXAS
ネクサス by Takeda Sports

Takeda Sports

Victoria

L-Breath
feel the earth, open-air sports

Victoria Golf

GOLF Partner

● For everyone who enjoy sports

● Understanding the community, developing the roots and responding to the needs

● Increasing communication with our customers and differentiating our business model

● Envisioning new sports businesses and maximizing its value

X 2020 and Beyond



The values of sports can be experienced and shared regardless of language, age, nationality or ethnicity.

XEBIO Group strives to provide three distinct values:

- 1) Product Value
- 2) Use Value
- 3) Emotional Value

It is our mission to continue pursuing the opportunities of sports and to maximize these values in order to further support our customers to attain their goals and dreams.

For everyone who enjoy sports

In order to provide our customers an extraordinary shopping experience, our stores are equipped with various historical sports items and memorabilia. It is our duty to communicate the values of setting goals and dreams as well as to create an environment where families can share these experiences together.

Understanding the community, developing the roots and responding to the needs

Each of our store's product line up is tailored to fit the needs of local regions and we continually strive to be chosen by the people of that community. Stores in more populated metropolitan areas deliver more specific categories of products and services while stores in suburban regions have an operation system to adjust and adapt to the community's specific needs. XEBIO Group's portfolio of retail store brands are carefully positioned to answer to various environments and needs.

Increasing communication with our customers and differentiating our business model

Each person in XEBIO Group is a Sports Navigator®. Each Sports Navigator increases each connection with our customers and guides their sports endeavors whether they are just beginning their challenge or they are pursuing competition at a high level.

The Sports Navigators focus on how our products and services deliver the solutions and important values gained through sports.

Envisioning new sports businesses and maximizing its value

XEBIO Group continues to innovate the sports business industry and develop new norms. Our golf category has created a full support model in which customers can buy new or used products, trade in old golf clubs for cash or credit, obtain golf information as well as receive personal lessons at one of our driving ranges.

In these ways, we strive to create and grow the various value points we provide to each of our customers.

X Fulfill through Sports

XEBIO Group started from one tailored suits retail store. Through the years, our business transformed to a casual lifestyle apparel retail company and now to a sports equipment and apparel retail company. In 2002, while shifting the core retail business to sports, Victoria and Golf Partner were added to the Group. Since the very beginning, tailoring to the needs of our customers has been embedded in our DNA and we continue to innovate our business with the same philosophy of our founders while adapting to the changing environment.

Further expanding the possibilities of sports through digital technology

With the rapid evolution of technology and digital capabilities, XEBIO Group will follow our transformative roots to fully utilize innovative technology as well as promote and develop the sports industry. Sports streaming accessibility, eSports, sports data management and sports media diversification are examples of how we utilize innovative technology to increase the communication with our customers.

As our environment is changing rapidly, we will continue to create new businesses with a focus on sports in order to realize a society where many people are moved by sports and can fulfill their goals and dreams through sports.

X Advancing Together with All Stakeholders



Together with our customers

XEBIO Group will continue its customer-first policy to maximize each customer's sports experience. It is our mission to help each of our customers to obtain the moving experience that sports can provide.

Together with our Sports Navigator®

XEBIO Group has a culture which strives to create for each employee the best working environment, directly connecting to our customer experience. The following are ingrained in XEBIO Group's culture:

- Spirit of initiative so that all employees can think and act independently
- Spirit of hospitality to create an atmosphere of enjoyment for our customers
- Spirit of change for constant enhancement and improvement of services

Together with our partners

Through cooperation with our business partners, we can continue to provide goods and services that satisfy customers and respond to their diversifying needs. By creating these long-term partnerships, we are able to create new value for our customers.

Together with our shareholders

With a focus on maintaining a long-term relationship with shareholders, we aim to ensure shareholder return in line with our policy of stable mid- to long-term dividend payments. Our main investor relations activities include holding a semi-annual meeting for investors to disclose key financial results and initiatives. At all times, we are committed to providing transparency of our company's financial position to our shareholders.

Together with society

XEBIO Group engages in sports related businesses and believes in the endless possibilities that sports can provide. Our purpose is to create opportunities for people to enjoy sports as something "close to their hearts" and to create a vibrant society by actively promoting sporting events and activities.

- Creating a platform for current and future athletes by supporting sporting events in various regions
- Collaborating together with the UNITED SPORTS FOUNDATION to provide opportunities for children to experience sports
- Leading various outdoor events to promote the importance of getting outside and moving the body
- Making each of our stores a hub in the local community which promotes the healthy development of people

XEBIO Group Core Companies

■ XEBIO Holdings Co., Ltd.

Trade Name XEBIO Holdings Co., Ltd.

Head Office 3-7-35 Asahi, Koriyama,
Fukushima 963-8024 Japan

Tokyo Office Nishikicho Trad Square 14F, 3-20 Kanda-nishikicho, Chiyoda-ku,
Tokyo 101-0054 Japan

Phone 024-938-1111

URL <http://www.xebio.co.jp/>

■ XEBIO Co., Ltd.

Super Sports XEBIO run by XEBIO Co., Ltd. is a general sporting goods mega store that has expanded its business throughout Japan. Super Sports XEBIO has a rich lineup of items for everyone from beginners to advanced players. In addition, XEBIO Co., Ltd. comprehensively supports those who enjoy sports through stores that specialize in sports glasses and sports nutrition.

Trade Name XEBIO Co., Ltd.

Utsunomiya 2-1-8 Hoshigaoka, Utsunomiya,
Head Office Tochigi 320-0038 Japan

Tokyo Office Nishikicho Trad Square 14F, 3-20 Kanda-nishikicho,
Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan

Head Office 3-7-35 Asahi, Koriyama, Fukushima 963-8024 Japan

Business Sales of sporting goods and equipment,
and clothes for women, men, and kids

Phone 028-624-5134

URL <http://www.supersports.co.jp/>

■ Victoria Co., Ltd.

Located mainly in the Greater Tokyo metropolitan area and in specific market areas, Victoria is a comprehensive sports retail chain and is a trendsetter that quickly recognizes and responds to world trends so that each shop of XEBIO Group can reflect these new movements.

Trade Name Victoria Co., Ltd.

Head Office Nishikicho Trad Square 12F, 3-20 Kanda-nishikicho,
Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan

Business Sales of sporting goods

Phone 03-5282-7700

URL <http://www.victoria.co.jp/>

■ GOLF Partner Co., Ltd.

GOLF Partner runs used golf equipment shops and golf driving ranges as well as operating franchises across Japan and holds the leading share in the second-hand golf equipment retail market.

Trade Name Golf Partner Co., Ltd.

Head Office Nishikicho Trad Square 13F, 3-20 Kanda-nishikicho,
Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan

Business General golf shop "Golf Partner" franchise chain,
"Festival Golf," and golf driving range business

Phone 03-5217-9700

URL <http://www.golfpartner.co.jp/>

■ Xross Sports Marketing Co., Ltd.

As a marketing agent for XEBIO Group, Xross Sports Marketing is involved in sales promotion and public relations activities and also plays a leading role in sports promotion and philanthropic activities.

Trade Name Xross Sports Marketing Co., Ltd.

Head Office Nishikicho Trad Square 14F, 3-20 Kanda-nishikicho,
Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan

Business Marketing, research consulting, event promotion,
and property management services

Phone 03-5282-7655

URL <http://www.xsmtktg.com/>

■ Cross Tech Sports Co., Ltd.

Cross Tech Sports is in charge of overseas business activities and R&D projects for XEBIO Group and formulates strategies for new ventures.

Trade Name Cross Tech Sports Co., Ltd.

Tokyo Head Office Nishikicho Trad Square 2F, 3-20 Kanda-nishikicho,
Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan

Head Office 3-7-35 Asahi, Koriyama,
Fukushima 963-8024 Japan

Business Overseas business support and R&D services

Phone 03-3294-7351

■ Xebio Communication Networks Co., Ltd.

Xebio Communication Networks is in charge of developing the Group platform and fusing digital elements in order to further evolve our sports conglomerate and maximize its business profit.

Trade Name Xebio Communication Networks Co., Ltd.

Head Office 3-7-7 Asahi, Koriyama, Fukushima 963-8024 Japan

Tokyo Office Nishikicho Trad Square 14F, 3-20 Kanda-nishikicho,
Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan

Business Formulation of XEBIO Group's strategies

Phone 024-927-7715

Major Consolidated Subsidiaries

Service related business

■ Cross Planet, Inc.

Sport related services that utilize the Internet, EC site management services, and golf course reservation services

■ XEBIO Card Co., Ltd.

Credit card business, installment services, <http://www.xebiocard.co.jp/>

Sports-related business

■ Tohoku Ice Hockey Club Co., Ltd.

Professional sports teams management <http://www.freeblades.jp/>
(Tohoku Free Blades)

Training and accommodation services

■ KOKUDOKANKO Co., Ltd.

Training and accommodation services

Overseas business

■ XEBIO China Co., Ltd.

Retail sporting goods sales in Shanghai, China <http://www.xebio.cn/>

■ XEBIO Chengdu Co., Ltd.

Retail sporting goods sales in Chengdu, China

Other business

■ XEBIO Insurance Services Co., Ltd.

General agent for life and non-life insurance <http://www.xis.co.jp/>

■ XEBIO Navigators Network Co., Ltd.

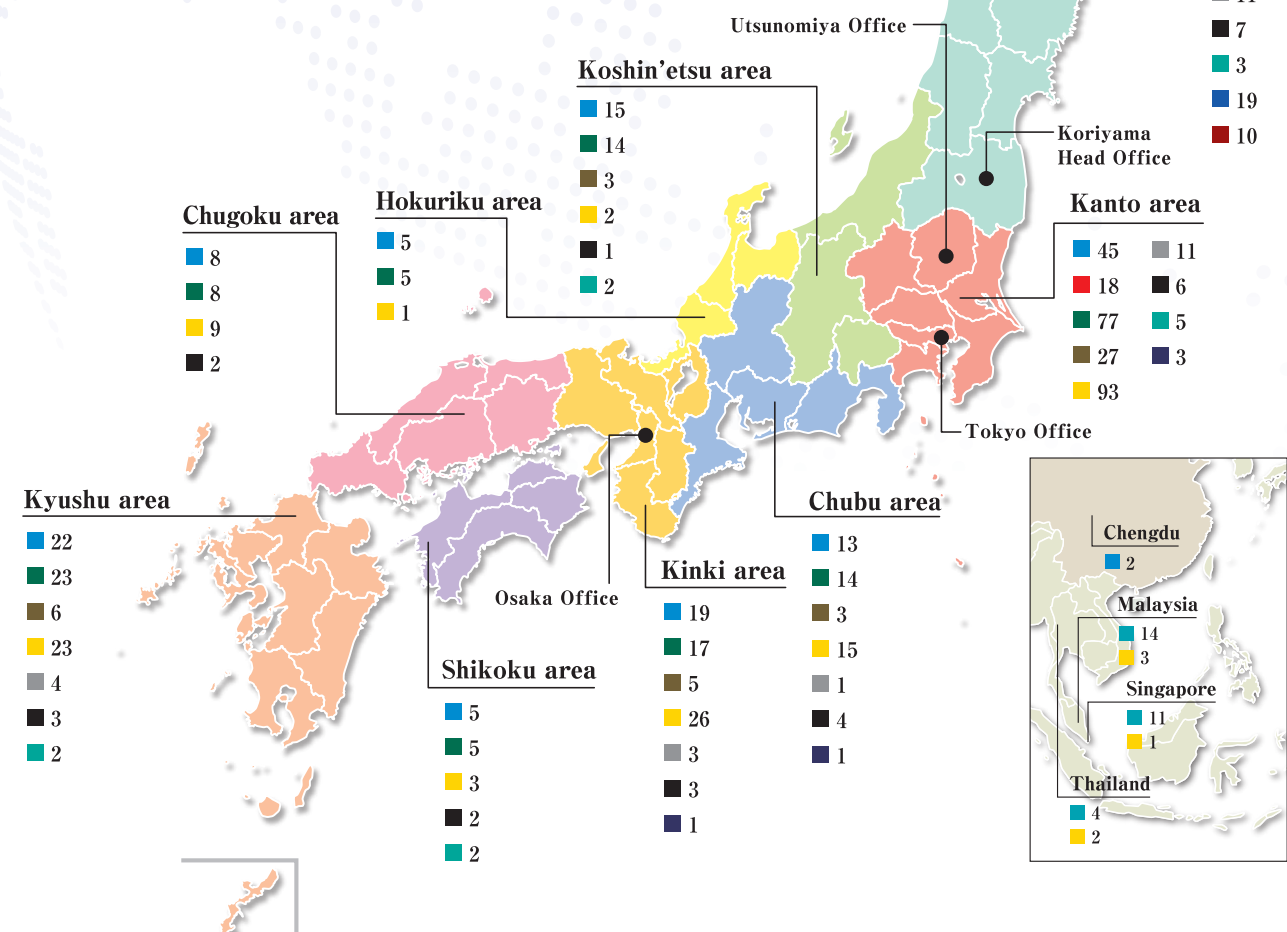
Sales contracting, human resources development, and temporary staffing

X Number of Stores

XEBIO Group has 772 stores (excluding franchises)

As of March 31, 2018

	Logos	Description	Number of stores/shops
■		A large sporting goods store that offers an extensive selection of sporting goods	173
		A general sporting goods store that offers a diverse selection of products and services to meet the needs of customers in the local community	
■		One of the "Specialty store retailer of Private label Apparel" (SPA) brands in UK that has more than 700 shops in 36 countries around the world	32
	X'tyle	A casual sportswear shop	
■	X'tyle vision	A specialized shop which offers sports glasses, including sunglasses with prescription lenses	30
■	Xiasis	A sports nutrition shop that helps keep athletes fit and healthy	14
■	Victoria	An urban sports shop offering an assortment of sports activities	18
■	Victoria Golf (and others)	A golf shop with a wide variety of items that can respond to every need	199
■	L-Breath	A fashionable outdoor equipment shop	47
■		The largest chain among Japanese used golf equipment shops where you can select one club out of an inventory of 550,000 clubs	196
		A pioneer in the used golf equipment industry that has a tremendous inventory of merchandise sold at reasonable prices	
■	NEXAS	A general sporting goods shop that offers a large selection of items and services suited to customers in northern Tohoku	29
■	Takeda Sports		
■	TRANSVIEW (and others)	A golf equipment shop in Southeast Asia	29
■	Others	Other specialty stores such as fitness equipment	5



Consolidated Financial Statements

(1) Consolidated Balance Sheet

	(million yen)	
	The consolidated fiscal year 2016 (As of March 31, 2017)	The consolidated fiscal year 2017 (As of March 31, 2018)
Assets		
Current assets		
Cash on hand and bank deposits	25,226	16,563
Notes receivable and accounts receivable	19,071	19,902
Operating loans receivable	1,826	1,715
Merchandise inventories	64,349	74,633
Deferred tax assets	1,587	1,791
Other	6,470	7,655
Allowance for doubtful accounts	△ 623	△ 537
Total current assets	117,908	121,723
Fixed assets		
Tangible fixed assets		
Buildings and structures	48,250	47,717
Accumulated depreciation and amortization	△ 30,796	△ 32,323
Buildings and structures, net	17,453	15,394
Land	15,484	15,463
Lease assets	3,945	3,396
Accumulated depreciation and amortization	△ 1,391	△ 1,309
Lease assets, net	2,554	2,087
Construction in progress	124	126
Other	18,014	17,980
Accumulated depreciation and amortization	△ 14,240	△ 15,198
Other, net	3,774	2,781
Total tangible fixed assets	39,391	35,853
Intangible fixed assets		
Goodwill	3,586	2,662
Software	1,626	1,409
Other	1,257	1,555
Total intangible fixed assets	6,470	5,627
Investments and other assets		
Investment securities	1,058	1,157
Long-term loans receivable	39	31
Deferred tax assets	2,455	2,634
Guarantee deposits	4,025	3,440
Security deposits	14,068	14,270
Investment property	3,726	3,114
Accumulated depreciation and amortization	△ 1,997	△ 1,333
Investment property, net	1,729	1,780
Net defined benefit assets	595	636
Other	1,070	1,282
Allowance for doubtful accounts	△ 68	△ 307
Total investments and other assets	24,973	24,927
Total fixed assets	70,836	66,407
Total assets	188,744	188,131

Note: In the tables above, △ represents decrease

	(million yen)	
	The consolidated fiscal year 2016 (As of March 31, 2017)	The consolidated fiscal year 2017 (As of March 31, 2018)
Liabilities		
Current liabilities		
Notes payable and accounts payable	17,576	16,336
Electronically recorded obligations-operating	28,853	27,339
Short-term debt payable	190	-
Income taxes payable	3,046	3,057
Reserve for employees' bonuses	1,224	1,280
Reserve for directors' bonuses	15	15
Reserve for point card certificates	1,593	1,580
Other	11,261	10,739
Total current liabilities	63,761	60,349
Non-current liabilities		
Long-term debt payable	-	75
Lease obligations	2,719	2,455
Deferred tax liabilities	91	91
Net defined benefit liabilities	756	808
Reserve for directors' retirement benefits	59	59
Asset retirement obligations	4,139	4,190
Other	437	418
Total non-current liabilities	8,203	8,099
Total liabilities	71,965	68,448
Net assets		
Shareholders' equity		
Common stock	15,935	15,935
Capital surplus	16,149	16,136
Earned surplus	89,353	92,038
Treasury stock	△ 5,736	△ 5,693
Total shareholders' equity	115,701	118,417
Accumulated other comprehensive income		
Valuation difference on available-for-sale securities	280	309
Foreign currency translation adjustment	587	701
Remeasurements of defined benefit plans	△ 224	△ 248
Total accumulated other comprehensive income	643	762
Subscription warrant	433	480
Non-controlling interest	1	21
Total net assets	116,779	119,682
Total liabilities and net assets	188,744	188,131

Note: In the tables above, △ represents decrease

(2) Consolidated Statements of Income and Consolidated Statements of Comprehensive Income (Consolidated Statements of Income)

	The consolidated fiscal year 2016 (From April 1, 2016 to March 31, 2017)	The consolidated fiscal year 2017 (From April 1, 2017 to March 31, 2018)
Net sales	223,353	234,595
Cost of sales	134,181	141,833
Gross profit	89,171	92,761
Selling, general and administrative expenses	81,743	81,840
Operating profit	7,428	10,921
Non-operating revenues		
Interest income	113	94
Dividends income	17	16
Foreign exchange gain	-	40
Rent on real estate	743	731
Fiduciary obligation fee	359	361
Other	297	475
Total non-operating revenues	1,530	1,719
Non-operating expenses		
Interest expenses	10	5
Foreign exchange loss	315	-
Rental expenses on real estate	697	634
Fiduciary obligation expenses	383	354
Provision of allowance for doubtful accounts	2	230
Other	50	27
Total non-operating expenses	1,459	1,251
Ordinary profit	7,499	11,389
Extraordinary income		
Gain on sales of fixed assets	293	2
Insurance income	372	-
Total extraordinary income	665	2
Extraordinary loss		
Loss on retirement of fixed assets	118	114
Impairment loss of fixed assets	1,151	2,059
Loss on disaster	318	-
Loss on store closing	1	117
Loss on valuation of investment securities	-	236
Loss on cancellation of leasehold contracts	-	4
Total extraordinary loss	1,589	2,532
Net income before taxes and other adjustments	6,575	8,858
Corporate, inhabitant and enterprise taxes	3,949	4,989
Deferred income taxes	△ 357	△ 387
Total income taxes	3,591	4,602
Net profit	2,983	4,256
Net profit/loss attributable to non-controlling interests	△ 8	7
Net profit attributable to owners of the parent	2,991	4,249

Note: In the tables above, △ represents decrease

(3) Consolidated Statements of Cash Flows

	The consolidated fiscal year 2016 (From April 1, 2016 to March 31, 2017)	The consolidated fiscal year 2017 (From April 1, 2017 to March 31, 2018)
Cash flows from operating activities		
Net profit before taxes	6,575	8,858
Depreciation and amortization	5,521	4,547
Impairment loss	1,151	2,059
Amortization of goodwill	612	719
Increase/decrease in allowance for doubtful accounts	182	152
Increase/decrease in bonus reserve	96	56
Increase/decrease in reserve for point card certificates	△ 59	△ 12
Increase/decrease in defined benefit liabilities	58	51
Increase/decrease in defined benefit assets	△ 453	△ 41
Increase/decrease in reserve for directors' retirement benefits	-	△ 0
Interest income and dividends income	△ 130	△ 110
Interest expenses	10	5
Insurance income	△ 372	-
Profit/loss on valuation of investment securities	-	236
Loss on retirement of fixed assets	118	114
Loss on disaster	318	-
Loss on store closing	1	117
Loss on cancellation of leasehold contracts	-	4
Increase/decrease in trade notes and accounts receivable	△ 1,026	△ 716
Increase/decrease in operating loans receivable	132	111
Increase/decrease in inventories	△ 6,959	△ 10,164
Increase/decrease in trade notes and accounts payable	6,040	△ 2,895
Increase/decrease in consumption tax payable	1,078	△ 683
Other	343	△ 1,856
Sub-total	13,240	555
Interest and dividends income received	73	60
Interest expenses paid	△ 10	△ 5
Income taxes paid	△ 3,429	△ 5,301
Refund of income taxes	198	803
Insurance income received	372	-
Cash flows from operating activities	10,444	△ 3,887

Note: In the tables above, △ represents decrease

	(million yen)	
	The consolidated fiscal year 2016 (From April 1, 2016 to March 31, 2017)	The consolidated fiscal year 2017 (From April 1, 2017 to March 31, 2018)
Cash flows from investing activities		
Payments for purchase of tangible fixed assets	△ 3,637	△ 1,836
Proceeds from sales of tangible fixed assets	13	9
Payments for retirement of tangible fixed assets	△ 94	△ 110
Payments for purchase of intangible fixed assets	△ 1,047	△ 901
Payments for purchase of investment properties	△ 9	△ 104
Proceeds from sales of investment properties	452	312
Payments into time deposits	△ 13	-
Proceeds from withdrawal of time deposits	31	50
Payments for lease and guarantee deposits	△ 1,149	△ 755
Payments for purchase of investment securities	-	△ 51
Proceeds from collection of lease and guarantee deposits	1,348	1,223
Proceeds from guarantee deposits received	20	18
Repayments of guarantee deposits received	△ 62	△ 35
Payments for purchase of shares of subsidiaries resulting in change in scope of consolidation	-	△ 329
Proceeds from purchase of shares of subsidiaries resulting in change in scope of consolidation	-	13
Other	57	135
Cash flows from investing activities	△ 4,090	△ 2,363
Cash flows from financing activities		
Net increase/decrease in short-term loans payable	△ 105	△ 191
Repayments of long-term loans payable	-	△ 2
Repayments of obligations under finance lease	△ 460	△ 707
Payments for purchase of treasury stock	△ 742	△ 0
Proceeds from exercise of stock option	-	49
Payments for purchase of shares of subsidiaries not resulting in change in scope of consolidation	△ 5	△ 12
Dividends paid	△ 1,569	△ 1,562
Cash flows from financing activities	△ 2,882	△ 2,427
Effect of exchange rate change on cash and cash equivalents	185	65
Increase/decrease in cash and cash equivalents	3,656	△ 8,612
Cash and cash equivalents at beginning of fiscal year	21,519	25,176
Cash and cash equivalents at end of fiscal year	25,176	16,563

Note: In the tables above, △ represents decrease

Stock Information (as of March 31, 2018)

Securities identification code: 8281
Stock exchange listing:
Tokyo Stock Exchange (First Section)

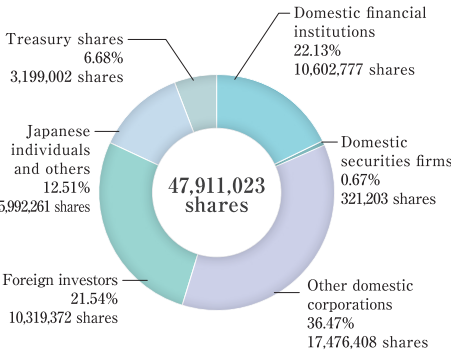
Share information

Total number of authorized shares
.....135,000,000
Total number of issued shares
.....47,911,023
Number of shareholders.....12,305

Name	Number of shares held (shares)	Ratio of shareholding (%)
Sunbig Corp.	8,252,605	18.5
Morohashi Museum of Modern Art	4,500,000	10.1
TTC Co., Ltd.	4,121,466	9.2
Japan Trustee Services Bank, Ltd. (Trust Account)	2,493,200	5.6
Japan Trustee Services Bank, Ltd. (Trust Account 9)	1,827,300	4.1
The Master Trust Bank of Japan, Ltd. (Trust Account)	1,505,600	3.4
Teruko Morohashi	1,392,364	3.1
Tomoyoshi Morohashi	1,173,250	2.6
Hiroko Morohashi	900,897	2.0
State Street Bank and Trust Company	813,440	1.8

*1. Our company owns 3,199,002 treasury shares but has no voting rights, so is excluded from the above list of major shareholders.
In addition, the ratio of shareholding is calculated after deducting the treasury shares.
*2. The number of shares held by the trust companies includes the shares for conducting their activities.

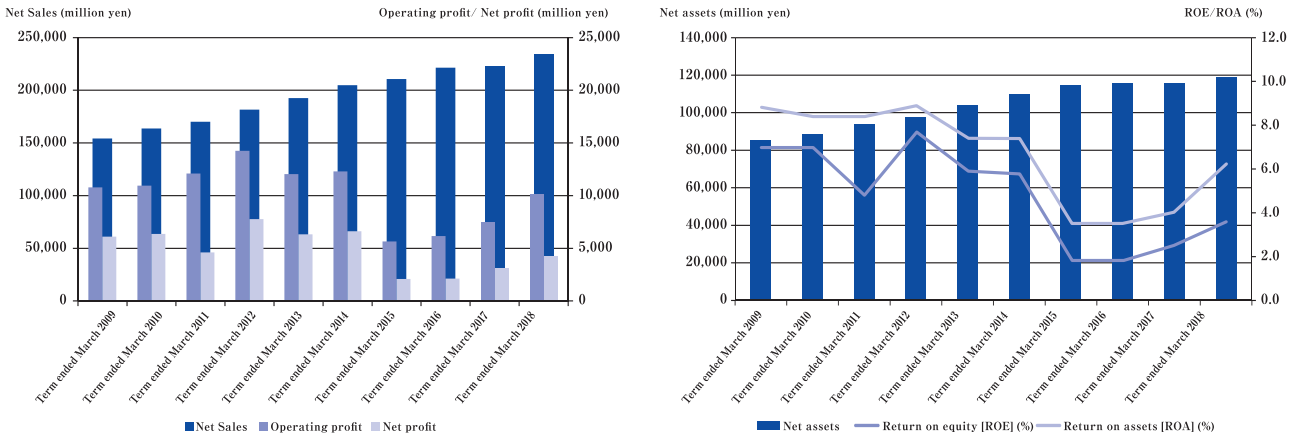
Distribution of shareholders



Financial Highlights

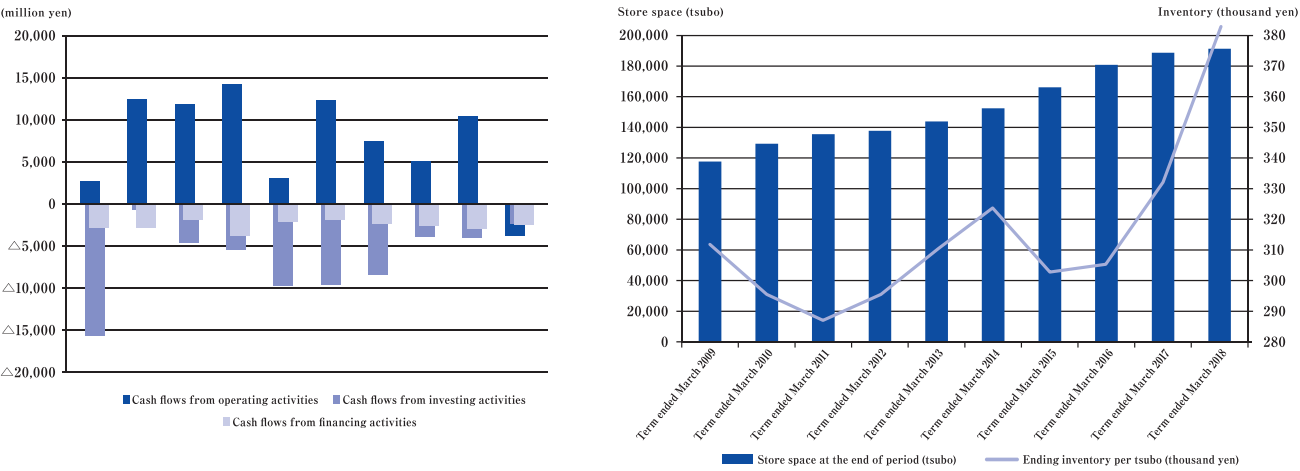
	(million yen)			
	Term ended March 2009	Term ended March 2010	Term ended March 2011	Term ended March 2012
Business results				
Net sales	154,159	163,664	170,183	181,577
Gross profit	59,613	62,202	65,731	71,730
Operating profit	10,774	10,943	12,091	14,257
Ordinary profit	11,979	12,048	12,797	14,658
Net profit	6,105	6,355	4,618	7,772
Financial position				
Current assets	67,373	78,989	83,204	94,909
Tangible fixed assets	34,990	34,994	35,319	36,363
Intangible fixed assets	7,694	8,156	8,533	8,702
Investments and other assets	28,605	26,152	25,507	24,784
Total assets	138,663	148,293	152,566	164,759
Current liabilities	45,942	49,074	48,091	54,642
Fixed liabilities	3,925	5,151	7,020	6,150
Net assets	88,795	94,067	97,453	103,966
Cash flows				
Cash flows from operating activities	2,724	12,476	11,910	14,221
Cash flows from investing activities	△15,661	△600	△4,547	△5,414
Cash flows from financing activities	△2,761	△2,798	△1,868	△3,694
Per share information				
Net assets per share (yen)	1,979.57	2,089.80	2,164.11	2,307.59
Net profit per share (yen)	133.46	141.23	102.60	172.68
Dividend per share (yen)	30.00	30.00	30.00	30.00
Financial indicator				
Return on equity [ROE] (%)	7.0	7.0	4.8	7.7
Return on assets [ROA] (%)	8.8	8.4	8.4	8.9
Capital adequacy ratio (%)	64.0	63.4	63.8	63.0
Other data				
Store space at the end of period (tsubo*)	129,389	135,529	137,715	143,882
Ending inventory per tsubo* (thousand yen)	312	296	287	295

*tsubo; 1 tsubo = approx. 3.3 m²



	(million yen)					
	Term ended March 2013	Term ended March 2014	Term ended March 2015	Term ended March 2016	Term ended March 2017	Term ended March 2018
	192,628	204,779	210,672	221,391	223,353	234,595
	75,490	81,403	80,850	85,614	89,171	92,761
	12,042	12,295	5,654	6,169	7,428	10,921
	12,471	12,985	6,432	6,396	7,499	11,389
	6,332	6,618	2,084	2,120	2,991	4,249
	94,173	106,081	105,153	106,759	117,908	121,723
	38,005	40,439	40,663	41,439	39,391	35,853
	8,132	8,037	8,233	7,706	6,470	5,627
	27,482	26,825	27,648	24,969	24,973	24,927
	167,793	181,383	181,698	180,875	188,744	188,131
	50,471	59,198	57,231	56,791	63,761	60,349
	7,557	7,606	8,685	8,426	8,203	8,099
	109,764	114,579	115,781	115,657	116,779	119,682
	3,092	12,385	7,424	5,138	10,444	△ 3,887
	△9,712	△9,552	△8,427	△3,913	△4,090	△ 2,363
	△2,088	△1,794	△2,293	△2,574	△2,882	△ 2,427
	2,429.93	2,534.30	2,560.85	2,556.27	2,603.52	2,665.51
	140.68	146.91	46.24	46.95	66.89	95.08
	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
	5.9	5.8	1.8	1.8	2.6	3.6
	7.4	7.4	3.5	3.5	4.0	6.1
	65.2	63.0	63.6	63.8	61.6	63.3
	152,453	166,168	180,796	188,755	193,193	191,890
	310	324	303	305	333	389

Note: In the tables above, △ represents decrease





X To All Our Stakeholders

XEBIO Group has created a vision statement, “Sports that Move the Heart,” and is committed to contributing to the sustainable development of sports while being recognized and loved as a “one-of-a-kind company” by local communities. In line with this, we are tackling a qualitative expansion of our businesses centering on the sports industry toward the realization of a healthy and fulfilling lifestyle for all people.

Sports has the power to promote the physical and mental growth of people as well as the power to enrich nations. Based on our “Customer-First Standard,” the company strives to develop its business operations that lead to provide as many people as possible with inspiration and opportunities through sports.

Recently, the environment surrounding sports has been changing greatly. In Japan, a variety of international sports events have been scheduled to take place over the next few years, and this has enhanced people’s interest in sports as well as brought high expectations and enthusiasm for sports. We have realized that these trends have been a driving force in enriching our country.

In addition, an increasing number of people are engaged in sports to promote their health and prevent disease, and in response to this need, both the public and private sectors are improving the environment for sports activities from different perspectives. By recognizing that this changing market is an excellent business opportunity, XEBIO Group is united in its efforts to continue to create a more favorable environment for sports.

Sports has the potential to contribute to the resolution of social issues through various approaches. We perceive that XEBIO Group’s significance lies in its ability to maximize the power and value of sports over generations, across borders, and across language barriers. With this in mind, we will strive to be a Group that is loved and trusted by all.

Tomoyoshi Morohashi
President